



KUMAMOTO



2015年11月号

国際会長主題	「信念のあるミッション（使命・目標）」 "Mission with Faith"	Wichian Boonmapajorn (Thailand)
スローガン	「恵みを数えよう」 "Count Your Blessing"	
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 "Through Love, Serve"	Edward K.W. Ong (Singapore)
スローガン	「まず自分から始めよう」 "Let it Begin with Me."	
西日本区理事主題	「あなたならできる！きっとできる」 "You can do it ! Yes,you can ! "	遠藤 通寛 (大阪泉北)
	— 生きる しなやかに さわやかに — "Live flexibly and refreshingly"	
九州部長主題	「九州から輝くワイズダム」	五嶋 義行 (阿蘇)

熊本クラブ会長主題 人間のいのちの持つ可能性を追求しよう！

Let's pursue the possibilities of human life !

堤 弘雄

強調月間

Public- Relations Wellness

ワイズデーを広報して、ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めて、EMCやクラブの活性化につなげましょう。

広報・情報委員長 加藤 信一 (京都トップス)

ワイズの国際交流に思いを寄せて

使用済み切手の整理を楽しむ

木山 彫子

11月14日、久しぶりにメネットを中心にBFの使用済み切手の整理をしました。岡崎メネットをはじめとして、男性メンも3名参加され総勢10名で井戸端会議的な四方山話に花が咲き、時間を忘れて作業に励みました。

お昼は熊本クラブのメネットをイメージして上品に作られたウェルビーの特注お弁当をおいしく頂きました。今回は1.7kgの出来上がりでしたが、皆さんとても楽しかったので年に2回くらいはやりましょうと盛り上がって終わりました。

元気の源はおしゃべりなんだと確信しました。

*BF(Brotherhood fund)

国際役員やBF代表が公式行事に参加する旅費などの資金源として、全ワイズメンの参加によって集められる資金。使用済み郵便切手を集め、切手市場で換金している。近年では、現金での献金が主となっている。



《手作業！でも、手よりアゴが疲れたかも？》

【今月の聖句】

「(キリストに結ばれた者は) もはや、ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隸も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」

ガラテヤの信徒への手紙 3章 28節

「みんなちがってみんないい」、この思いがこの聖句には込められています。神様は「わたしの目にはあなたは高価で尊い」と言われ、すべての人の存在そのものに価値があり「神の眼差し」の中ですでにかけがえのない一人として愛され、貴い者とされているのです。(藤川 登士郎)

10月 EMC 例会報告

大 村 豊

好天が続く10月下旬の木曜日、定例の第2例会が、ホテルキャッスルの2階で行われました。

今月と11月は、EMC 例会です。多くのゲストが参加してよい刺激となります。吉本ワイズがお招きした日本語も上手なメキシコのドクターとのその奥様（本田郁美さん、県立ひのくに高等支援学校講師）が私のテーブルにいて、お話しがはずみました。

ドクターは、熊本では、一般的なボランティア活動などをしているとのことでした。

堤メネット会長が3名のゲストをお誘い頂いたことも嬉しいことでした。一方では、メンバーの出席率の良くないことは気がかりなことです。

堤会長が、ギデオン協会の熊本の支部長であることから、出席した全員に新訳の聖書（表紙はヨーロッパと思われる草原のすてきな写真でした）が配られました。



卓話は、みなみYMCA の運営委員であり、YMCA の講師でもある熊本ハーベスト・チャーチの中村陽志牧師による「こころの居場所がみつかれば、人生はいつでもやり直せる」という題でしたが、

その題は、熊本刑務所の「教誨師」としてのお働きについてのものですが、当日のお話しの内容は、家族の大切なことについて、パソコンとスクリーンを使って、多くの楽しい家族の写真を示して、「ハッピーファミリーは楽しい時間を共有する」、「ハッピーファミリーは愛を表現しあう」、「ハッピーファミリーは弱さを補い合う」などのテーマについてのお話でした。

いただいたパンフレットからも日頃の家族や子育てを支援する教会の活動の様子がよくわかりました。世代の違う牧師ですが、その教会へ足を運んでみたくなる素敵なお話でした。

例会後の二次会も、たいへん賑わったようでした。



《たくさんの方に参加していただきました。》

* 今月の短歌

秋晴れの 空の青さをバックにし
花水木の実 赤くかがやく
メネット 岡崎 佐恵子

例会スナップ



《卓話の中村陽志牧師と堤会長》



《Happy birthday と Happy anniversary》



*スピリットクラブ福島 Ys よりペットキャップ収集の益金が熊本クラブを通じて YMCA タイ高地族「若竹寮」支援に贈られました。



12月ファミリークリスマス例会のご案内

12月 24 日 (木) 19:00~21:30

熊本ホテルキャッスル

メネット¥4,000 ビジター¥5,000



会長だより

受くるより与うるが幸いなり

会長 堤 弘雄



11月には前進祭のバザー、古切手の整理、スペシャルオリンピックへの協力など奉仕活動の多い月でしたが、皆様のご協力により充実した取り組みができましたことに感謝いたします。

さて、ワイズメンズクラブに集う人の多くは、人の喜びを自分の喜びとして感じることができる方々です。66年の熊本ワイズの歴史の中で、肢体不自由児や目の不自由な子供たちのキャンプや交流活動を長年続けてくることができたのは“受くるより与うるが幸いなり”的精神が貫かれていたからだと思います。ワイズメンズクラブは交わりや活動を楽しみながら、一方では地域社会や世界の中で支援を必要とする人々と寄り添うという素晴らしい国際団体です。11月の例会やクリスマス例会でお迎えしたビジターの皆さんのがワイズメンズクラブに入会され、心豊かな人々とのお交わりを楽しまれ、さらに充実した人生と導かれることを祈ります。

12月24日(木)は楽しいクリスマス例会です。ご家族、ご友人お誘いの上ご出席ください。

第47回前進祭は楽しかったの巻

大 村 豊

恒例の前進祭の第47回が、中央YMCAで、11月8日の快晴の日曜日に行われました。

熊本クラブは、いつものとおり、別館の1階のフリースペース内で、ひまわりの店の隣で、のみの市を担当しました。

開会式は、午前10時30分、のみの市は午前11時00分からです。開始時間には、いつものように長い列ができて、開場待ちの状況でした。毎年お見かけする人も多くいます。

午前11時に開場すると、あっという間に開場は人、人、人で一杯になりました。そこへ、阿蘇クラブの小山ワイズ外5~6名のバンドが、トロンボーン、太鼓、トランペット、サックスなどにより、賑やかにマーチを演奏してくれました。音楽は人の心を豊かにして、楽しい雰囲気となり、品物の売れ行きも順調にスタートしました。

その後も、順調に品物は売れましたが、お昼を過ぎるとお客様は閑散となります。そして、私達もやっと昼食をとることができます。豚テキ、焼きそば、みかん、赤飯など、差し入れのいもケンピなどもありました。そして、各々、前進祭のティケット1,000円分を飲み食いすることになりました。

途中、食べ物の買い物に行ったり、毎年同じ日に高校野球大会があるので、その野球の応援に行

ったり、いろんな人が出たり入ったりして、楽しい一日が過ぎていきました。

プログラムは、午後2時半からの閉会式により終了となります。

益金は、10万810円でした。後片付けをして、会場を出たのは、午後4時を過ぎていました。

熊本クラブのメン、メネットの皆さん、特に多くの女性陣の皆様には、土曜日の値付けから頑張っていただいて、深く感謝します。

ありがとうございました。



《高くない?安すぎない?前日の値付けの様子》

第37回チャリティダンスパーティについて

大 村 豊



11月3日(火、文化の日)、快晴の日、午後6時30分から、熊本市総合体育館内の2階の熊本市青年会館ホールにおいて、第37回チャリティダンスパーティが、熊本の9のワイズのクラブ(除ヤングクラブ)、熊本YMCA、熊本YMCA社交ダンスクラブの共催で行われました。

かつては、熊本YMCA中央センターで、社交ダンスの講座があり、青山先生やボランティアの指導をうけて、私も初級、中級、上級と毎週1回、中央センターへ通ったことが懐かしく思い出されました。私は、その後、ダンスクラブにも入会したのです。朝比奈さんと親しくなったきっかけです。その頃のダンス仲間の友達とのおつきあいが、今も続いています。その講座は今はありません。残念なことです。

最近の青少年は、ヒップホップダンス、ストリートダンスを楽しむそうで、社交ダンスに取り組む青少年は少ないそうです。

しかし、社交ダンスは一つの教養であり、若い異性と正々堂々と手を握ることも体を寄せ合うことも

できるのですから、是非とも多くの若い人々に、もっと真剣に取り組んで貰いたいところです。

約90名の愛好家は、若い人が少ないのですが、広い室内のフロアで、タンゴ、マンボ、ルンバ、ワルツなどを楽しんで、その熱気で室内の温度が上昇し、暑い季節は終了しているのに、クーラーを入れて貰うことになりました。

午後8時過ぎ、やっと私と岡総主事の出番になり、チャリティの由縁をアピールすることができました。

受付は、YMCAの大熊さん、米倉ワイズ（元ダンスクラブのメンバーでもあります。）が担当していましたが、当日は踊ることはなかったようです。毎年このプログラムにより、多額の支援をいただいています。ありがとうございます。この益金により、我がクラブの看板のプログラムのポニーキャンプ、日韓視覚障がい青少年交流プログラムが行われているのですから、今後は、もっと多くのメンバーが参加していただきたいと思いました。

八代クラブの瀬海さん、ジェーンズの安武さんが、上手にダンスをしていて、羨ましいことでした。我がクラブの元のメンバーのダンスクラブの秋根さんにもお会いできました。



九州部会に参加して

大 村 豊

10月17日（土）午後1時に、私の京町の事務所に今村ワイズと続ワイズが集まり、爽やかな快晴の中、私の自動車で出発しました。その趣旨は簡単なことですですが、要するに、ドライバーが私で、ドリンカーが今村ワイズと続ワイズという役割なのです。

途中、私の用事で、東急ゴルフクラブに寄り道をして、午後2時半過ぎ頃、阿蘇プラザホテルに到着しました。途中、私は、ワイズやYMCAのいつものプログラムのように、阿蘇キャンプ場へ向かおうとしたのですが、今回は違った会場でのプログラムでした。

私達が到着したそのタイミングで、部会の一部の式典が終了し、徒步で草原学習館へ移動し、尾ヶ石保育園の園児による「虎舞」が披露されました。小さな子供達が一生懸命演じてくれるのですから、感動するのです。



講話もありましたが、運転の疲れからか、私は相当の部分寝てしまいました。

その後、相当の時間の休憩があり、温泉に入る人もいたようですが、私は、ワイズの物品の購入をしながら、熊本クラブのいつもの押し売りに近いコーヒー販売（主役続、脇役私）の手伝いをして、あっという間に完売となりました。

午後5時から、祝宴となりました。赤水保育園の園児による太鼓の演奏から始まりました。その保護者の皆さんも会場にいましたから、大変な混雑状況でした。

乾杯の後、海のない阿蘇でも、刺身がたくさんでした。又、阿蘇クラブのお世話による赤牛の丸焼きのご馳走がでました。次から次に、様々な料理が振る舞われました。

帰途は、赤い顔の堤会長が加わって、私の自動車は、合計4名でおしゃべりしながらあつという間に熊本へ到着しました。私のメネットも、早い帰宅を喜んでくれたのでした。

スポーツの秋、私の趣味

卓球大会に参加して

続 博



現在卓球協会には、硬式の部、ラージボールの部の2種類があり、私は硬式の部で「西合志ひまわり」チームに所属し、週2,3回練習をしています。1年を通して大、小合わせ約15大会があり、その殆んどに身の程も知らずに参加しています。

11月15日（日）には山鹿市総合体育館で開催された全九州卓球選手権大会（年齢別の部）の個人戦、男子ダブルスの部に参加しましたが、県の代表を決める名実共に実力NO1の大会ですが、それぞれ3戦、3戦して全敗と散々たる結果でした。出場選手は皆若い時、国体、県体等で活躍した強豪ばかりで、私は毎年1勝を目標に参加するのですが段違いで今年も駄目でした。

10月25日（日）には益城町総合体育館で開催された益城町卓球大会の団体戦に参加し私達はランクを落として、中学生、老若男女問わずの混合試合で10試合し全勝で見事「西合志ひまわり」チームが優勝！！（賞品新米5Kg）

10月20日（火）熊本市主催秋季エンジョイ卓球大会ではシングルス、混合ダブルスに出場し予選リーグはそれぞれ3試合ずつ全勝し決勝トーナメントに進出しましたが優勝できず残念！！

以上がここ3大会の結果です。各大会とも出場選手が約500人を越える大きな大会で熱狂振りには驚きです。卓球は少し歳をとっても気軽に出来るソフトなスポーツです。皆さんも始めてみませんか？



福祉キャンプのはじまり

吉本 貞一郎

プリテン巻頭のイラスト、子羊・子鳩・ポニーが福祉キャンプのニックネームを表していることをご存じでしょうか。これらの YMCA 福祉キャンプはワイズメンの熱い思いで実施されたものです。

1959 年、戦後、ポリオによって肢体不自由の障がいとなった子どもが学齢を迎えていた。熊本 YMCA 独自の調査では熊本市内 13 中学校に 98 名、38 小学校に 210 名の障がい児が在籍していた。

熊本ワイズでは、これらの障がい児に対して YMCA のプログラムによって療育と自立を支援しようと、「肢体不自由児を励ます会」(通称、熊本 YMCA 子羊会) を発足した。

当時、金澤幸一 Ys は医療によって接した身体障がい児へ深い関心を寄せ、ワイズや YMCA の奉仕活動によって前述の目的を行うプログラムの実現を願い、その思いが子羊会の契機となった。

金澤 Ys は、「忙しい医業の傍ら、肢体不自由児療育キャンプの先進 YMCA である、京都 YMCA 佐波江キャンプ場まで自費出張し、自らキャンプ体験を経て、熊本における肢体不自由児への奉仕プログラムを提唱したのである。」

準備会で示されたキャンプの目的のまとめに、「キャンプ生活は、ただ単にレクレーションの機会に恵まれない児童のために、その機会を与えることのみでなく、(略) 療育への意欲については、心理的リハビリテーションの場であり、肉体的には治療後のアフターケアにつながるものと考える」とされている。

なお、吉田孝祐 Ys によるキャンプの写真が国際ワイズのフォトコンテストで優勝している。

YMCA 活動が会員の思いによって実施された一つの例ではないでしょうか。当時、京都までの国鉄は今と違い大変だったでしょう。そして、その記録のために 8 ミリ撮影機を持参されています。一週間以上仕事を休んでまでも取組まれた熱意にも感動です。ちなみに、現ジェーンズクラブ会長 金澤知徳 Ys はご子息です。

* 参照

熊本 YMCA50 年史

P.70 「4 肢体不自由児を励ます会 (子羊会)」

【YMCA だより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 「中央 YMCA 前進祭開催」

11月8日(日)、第47回前進祭が盛大に行われました。これまで体育館駐車場を主な出店エリアとしていましたが、今年から体育館を主な出店エリアに変更しました。それに伴い、イベントにも多くの参加があり大いに盛り上がりました。

益金も収支差で 439,734 円を集めることができました。熊本クラブの皆様にはのみの市で大変なご協力を頂きました本当にありがとうございました。

☆ 「援助する前に考えよう」

国際協力に指導的役割をされている田中治彦氏の生涯学習セミナー「援助する前に考えよう」が 12 月 12 日 (土) 10:30 より中央 YMCA にて開催されます。田中氏は住民参加型の開発が持続可能な開発につながると提唱されています。この機会に国際協力援助活動について考えてみませんか。

☆ 「市民クリスマス 2015」

今年の市民クリスマスは、12 月 3 日 (木) くまもと森都心プラザホールで岸義紘チャリティコンサートを行います。サックスの音色に癒されながらクリスマスマード一色につつまれてはいかがでしょうか。開場 18:30 です。

☆ 「国際協力青少年育成年末街頭募金」

今年も YMCA 国際協力青少年育成年末募金の街頭募金を市内各所で行います。中央 YMCA は新市街マクドナルド前と鶴屋本館前に別れ、13:00 ~ 15:00 の 1 時間交代で行います。今年も皆様のご協力をお願い致します。

☆ 「YMCA ブランディングコンセプトのためのアンケート」

全国展開で YMCA ブランディングコンセプト作りのためのアンケートが実施されます。対象は YMCA に関わるすべての人です。熊本 YMCA においては 1,000 名のアンケートデータが必要とされています。「ブランディング」手法を用いて、より多くの人に選ばれ、関わる人が誇りと愛着が持てる YMCA を目指します。ご協力をお願い致します。アンケートはネット上で行います。この URL からお入りください。<http://c.imgur.jp/> ID: ymca パスワード: image

◇◆◇ ワイズ運営メモ スケジュール

月/日 (行 事)

12月

- 1 日 2017 区大会実行委員会 (東部 Y)
- 3 日 市民クリスマス (森都心プラザ)
- 6 日 熊本 Y 街頭募金
- 10 日 事務例会
- 12 日 セミナー「援助する前に考えよう」
- 24 日 ファミリークリスマス例会

1月

- 13 日 熊本連絡会議 YY懇談会
- 14 日 新秋放談会 (1月例会 中央 Y)

【編集後記】

暖かい初冬も師走の声とともに終わりのようです。多忙な 12 月を健康で過ごしましょう。(吉本)

'15-'16 熊本ワイズメンズクラブ 11月事務例会記録 拠点
日時：11月12日(木)19:00~21:00 場所：熊本中央 YMCA 紫苑会室
出席：堤 米倉 木山 続 藤川 大村 吉本 岡崎メット (出席8名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 11月 EMC 例会 11月26日 19~21時 キャッスル
司会（大村）・食前感謝（藤川）・スライド使用（スクリーン等準備）
・席に案内する役目をお願いできないか。・ウェルビーの利用者を招待
卓話者：入部祥子さん（オハイエ熊本理事長）「オハイエの活動について」
- 2) 12月クリスマス例会 12月24日 19:00~21:30 キャッスル
司会案（吉岡） 食前感謝案（礼拝に含める） メッセージ（堤会長）
乾杯（岡崎） 礼拝次第作成 音楽：出演者「オレンジ」（内諾）
・礼拝、懇親、アトラクションと3部 ・プレゼント交換約¥1,000
・参加費：メン例会費 メネット4,000 ビジター5,000
- 3) 1月例会 昨年と同様に行う。
新春放談会（例会）、1月14日中央YMCA ウェルビー
新年会（会費各自負担）1月28日 熊本市役所14F「彩」

2. じゃがいも

- 収益 約585（千円）。YMCA年末募金へ5万円を献金する件、承認。

3. YMCA

- 1) 前進祭 収益440千円程（のみの市は100千円を超えた）
・値付け、販売ともメン、メネットの協力で無事に終了。
- 2) 市民クリスマス（12/3 19時～森都心プラザ）チケット10枚購入。
- 3) セミナー「援助する前に考えよう」（12/12）10:30~16:30 中央Y

4. 連絡会議

- ・ワイズディ（SO支援）、参加者がいないので賞品を寄贈する旨、承認。
- ・区大会実行員会、第1プログラム委員会への依頼あり、承認。
- ・菅YMCA会長より、国際協力青少年育成年未募金への協力依頼。

5. BF切手整理（11/14 中央Y紫苑会室 費用はクラブで負担、承認。

6. クラブファンドについて コーヒー・お茶・お米 販売

7. ブリテン原稿 11/21（土）必〆切 10月例会報告（大村） 会長通信（堤） YMCA報告（藤川） 前進祭（大村、赤星メネット） チャリティダンスパーティ（オムラ） 部会、切手整理等

7. その他 1) DBC 京都Gより4月2~3日に雄琴温泉、検討。
2) 年賀ハガキ 堤会長手配（1,900枚配布）

【報告事項】

1. YMCA 1) 前進祭 2) チャリティダンスパーティ 3) チャリティゴルフ
2. 第2回 熊本連絡会議 11/11（水）

YMCAの歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本YMCAの歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凪ぐところ
み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
YMCA こぞれりここに

Today's program

2015年11月26日 19:00~21:00

熊本ホテルキャッスル

11月 EMC 例会

進行：大村 Ys

開会宣言・点鐘

ワイズソング「いざたて」

会長挨拶

ゲスト紹介

ビジター紹介

Happy birthday & anniversary

食前感謝 藤川 Ys

(会食) 諸報告

卓話

「オハイエの活動について」

入部 祥子さん
(オハイエ熊本理事長)

ニコニコ・アピールタイム

「なごりは つきねど」

閉会挨拶・点鐘

先月例会記録（2015.10.22）

在籍会員	28
出席会員	11
功労会員	1
広義会員	1
マイキャップ	
出席率	42.3%
ゲスト	2
ビジター	8
メネット	4
コメット	
例会出席総数	25
BF（プラザーフッドファンド）	
2015年度献金（現金）	
クラブファンド（ニコニコ）	
前月残高	119,429
10月献金	13,692
10月支出	20,000
10月残高	113,121

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められています。

それには、何をおいても先ずYMCAに対する奉仕を旨とし、YMCAとのつながりを一層強め深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのめの具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕することを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより堅く結び、ともどもYMCA運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"